

児童相談所関連研修「児童心理司（応用）Ⅰ」

【実施日】	10月8日（火）、31日（木）
【受講決定者数】	40名
【受講生の声】	・各回にひとつのテーマだったため、そのテーマについてどっぷりと浸かりながら深く考えることができました。学んだことの中からそのまま自身の業務に生かせることのみならず、一見今の業務とは繋がり薄い事柄であっても何かしらの形で関連付けて学ぶことができ、間接的に業務に生かせるものをいくつか見つけられたと感じます。 ・表面上の解釈の文章などではなく、知能検査というものがどういう位置づけか、どういうことに留意すべきか、非常に重要な考え方を学ぶことが出来たと思います。心理司としての倫理について改めて考えさせられる大事な研修でした。 ・面接をしているとつい「大丈夫」「十分できている」等と承認・保証したくなりますが、安易な保証を避けるためにも背景に強迫が隠れているかもしれないという視点を持つことを意識したいと思いました。また言語的価値低減法は強迫症に限らず他の心理教育の場面でも積極的に活用していきたいと感じました。